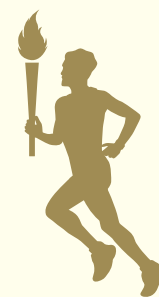


沼田を照らす 希望の輪



1



2



3

1. 第1走者の木幡君(写真左)が希望の炎をつなぐ 2. 軽快な走りで行道の市民に笑顔を送る 3. 市内では唯一の団体ランナーがリレーを盛り上げる

県内で巡回される東京2020オリンピック聖火リレー2日目となる本市では、17人が約2・4キロを走り切りました。晴天に恵まれ、ピンク色の桜で染まった沼田公園で開かれた出発式では、聖火の火をトーチに移すと、会場から大きな拍手が送られました。本市を拠点に和太鼓の活動をしている「手久野太鼓」の演出やサポートランナーらが開催を祝い、第一走者となる木幡悠紀君を送り出しました。

それぞれのランナーは、沿道に集まった市民に笑顔で応じながら走り、トーチキスポイントでは思い思いのポーズを取りながら次のランナーに聖火を引き継ぎました。軽快な音楽とともに色鮮やかに装飾されたスポンサー車両の演出もリレーを盛り上げました。

最終ランナーは、市民や沼田中学校吹奏楽部らが待つ市民体育館へ聖火を運び、次の経由地の川場村へつなぎました。

問合せ 企画政策課政策推進係 内線4034



4



6



5



7

4. トーチキスのポーズも盛り上がり重要。どんなポーズで思いをつなげますか 5・6. 市内に笑顔をつなげ、手を振り走行するランナー 7. 横山市長から木幡さんへ火を灯す感動の瞬間

出発式に参加して



2度目の東京五輪
長生きしてよかった

関口綾子さん
— 榛名町 —

私にとって2度目の東京オリンピック。1度目は東京で自宅のカラーテレビから見ていました。開会式での日本選手の制服の色と日本国旗が青空に映えていたことが心に残っています。

2度目はまさか実際に聖火リレーを見ることができると、嬉しくてワクワクしています。新型コロナの心配はありますが、やっぱりオリンピックは楽しみ。長生きしてよかったです。



オリンピック出場を
夢見て

佐伯真くん
— 沼田東小6年 —

フェンシングでオリンピックに出場することが夢です。試合で勝ったときや先生に褒められるとますますやる気になり、自分よりも強い選手に勝てるように練習に励んでいます。フェンシングの魅力はスピードや動きの美しさ。自分の競技を通して皆さんに知ってもらえると嬉しいです。

オリンピックが楽しみ。共にフェンシングに励む妹が、サポートランナーを務めるので見守ります。

最終ランナーと沼中吹奏楽部で、笑顔でリレーを締めくくる



5

広報めだ 2021. 5

沿道から旗や手を振り応援する市民ら



ダンスで盛り上げるスポンサー車



手久野太鼓の力強いバチさばき



手を振り聖火を笑顔で迎える



4